



いいで町

157号

議会だより

散居の夜明け（第3回心のふるさとフォトコンテスト 最優秀賞）白鷹町 佐藤正信 氏

3月議会(第3回定例会)

3月議会定例会概要	P2~3
施政方針・総括質疑	P4~5
予算特別委員会	P6~9
一般質問	P10~12
条例設定・改正	P13
各常任委員会	P14
臨時会・指定管理・表彰	P15
一部事務組合・編集後記	P16

い大型予算

平成27年度 予算

一般会計は、71億5,500万円、13特別会計は32億7,888万円、水道事業会計7億1,187万円、合わせ111億1,575万円の過去にない大型予算となりました。

主な事業

山ドリチウムイオン電池開発研究センター建設
6億円

草地畜産基盤整備事業
17億60万円

多面的機能支払交付金(農地・水・環境保全)
40億07万円

第一小学校改築事業
6億710万円

プレミアム付き商品券発行事業(年2回)
12億60万円

用排水路整備事業
54億40万円

中小企業振興事業補助
1億円

除雪事業(除雪機械購入含む)
2億4051万円

老朽危険空き家対策事業
15億11万円

農業集落排水施設建設事業
2億637万円

中なか新水源取水施設建設
5億67万円

道路新設改良事業
2億1390万円

農業集落排水事業
5億6140万円

子育て支援医療給付
28億66万円

廃棄物処理
43億98万円



地域の力で農地を守る

第3回定例会 今までにな

平成27年3月定例会は、3月4日から13日までの10日間にわたり開催されました。

一般質問は3人、平成27年度予算15件、26年度補正予算15件、条例関係19件及び人事案件3件、その他13件を審査し、いずれも原案のとおり可決しました。

平成26年度補正予算

地方創生事業を次年度へ繰り越し

一般会計

1億6075万円を減額し、総額73億7757万円となりました。

補正の主なものは、ふるさと納税に係る基金積立5千万円、旧和光電気建物改修工事に5百万円等を追加し、減額は各種事業費の精査によるものです。

なお、地方創生事業関係として、プレミアム付商品券発行事業、飯豊型地方創生計画の策定や人口増対策費など6件で5940万円を次年度へ繰越し実施します。

特別会計

12の特別会計と水道事業会計の補正の内容は、介護保険特別会計が介護保険給付費3543万円増額しましたが、ほかの会計は、年度末精査による減額です。



いいでの米の食べ比べ（ふるさと納税返礼品）

人事

任期満了に伴う次の各財産区管理委員会委員の選任に同意しました。

- 豊原財産区
 - 萩中 細谷芳弘
 - 手塚與右衛門
- 添川財産区
 - 梅津 幸一
 - 井上 俊忠
 - 草刈 一郎
 - 浅野 章
 - 佐藤 武雄
 - 山本 幸男
 - 松原 見吉
 - 豊川 勝和
- 豊川財産区
 - 鈴木 満昭
 - 佐藤 利浩
 - 竹田 俊
 - 山口 春
 - 山藤 正悟
 - 伊藤 正悟
 - 船山 彰
 - 小白川 弥
- 添川財産区
 - 梅津 幸一
 - 井上 俊忠
 - 草刈 一郎
 - 浅野 章
 - 佐藤 武雄
 - 山本 幸男
 - 松原 見吉
 - 豊川 勝和
- 豊原財産区
 - 萩中 細谷芳弘
 - 手塚與右衛門
- 添川財産区
 - 梅津 幸一
 - 井上 俊忠
 - 草刈 一郎
 - 浅野 章
 - 佐藤 武雄
 - 山本 幸男
 - 松原 見吉
 - 豊川 勝和
- 豊川財産区
 - 鈴木 満昭
 - 佐藤 利浩
 - 竹田 俊
 - 山口 春
 - 山藤 正悟
 - 伊藤 正悟
 - 船山 彰
 - 小白川 弥

施政方針 将来に種をまこう！

成長の可能性のあるところにこそ、人々が集まる

そのことを噛みしめる一年にしたい

飯豊町長

後藤 幸平



私たちは、社会の変

化や時代の変遷に長期
的な節目にしっかりと
視座を据えて、次の時
代の方向を見つめ戦略
を打ち立てなければな
りません。そのために、
常に将来に向けた「種
をまく人」が必要です。

人口減少と少子化、
高齢化、若者晩婚化、
過疎化による集落の変
貌など多くの課題に果
敢に取り込んでいかな
ければなりません。
農村の将来を明るく
可能性に満ちたものに
したい。そのためにい
ま種をまこう！
これこそが平成27年
度施政の基本となる方
針であります。

「にぎわいあふれる
まちづくり」

誰もが安心して子ど
もを産み育て、子育て
が楽しくなる町
を目指し、人口
の流れを「出
る」から「入
る」に転換する
ため定住・転入
支援や総合的な
住宅対策等の定
住環境整備を図
ります。

それには、U・
Iターン者への
定住・転入支援
と、東京高円
寺チャレンジ・
ショップでの移
住相談会の定期
的開催及び移住
体験お試し住宅

の整備を図っていきま
す。



「自然と共生する
まちづくり」

美しいまちづくりに
向け、農山村の景観や
環境と文化を守るため、
主体的な取り組みを推
進し、地域の小集団活
動へ支援していきます。

また、本年度より
「中水源」の取水施設
整備に着手し、安全な
水道水の安定的な供給
を目指します。

「生きがいと笑顔の
まちづくり」

健康で心豊かに生活
できる地域づくりを目
指し、特定健康診査の
受診者の拡大、生活習
慣改善のための健康教
室や特定保健指導を実
施していきます。

「豊かな感性を育む
まちづくり」

町民一人ひとりが充
実した生涯を送るため
の学習機会の提供、ス
ポーツ、芸術文化に触
れ合うための活動を推
進します。低年齢保
育ニーズの高まりを踏
まえ、つばき保育園の
定員を110人へ増員
し、子育て支援サービ
スを充実していきます。

「つだわりの
産業づくり」

7つのマスタープラ
ンに基づく飯豊・農の
未来事業を実施するた
め「飯豊・農の未来
塾」を開塾し、新たな
農業の未来へ取り組
みます。

起業支援施設整備事
業により研究開発によ
る企業研究者の集積や
雇用創出、町内外企業
との交流連携を強め、
経済活性化を進めてい
きます。産学官金が連
携し研究開発環境を整
え、将来の人財創出に
つなげていきます。



旧和光電気跡地

総括質疑

住民をどう導くのか

嶋貫栄助 議員



問 基金繰入金と町債の大幅増。前年度末より町債残高が11億591万円増の予算。事業計画の見通しは。

町長 平成27年度末を目標に策定します。人口動態を分析し、第4次総合計画との整合性を図りながら、27年度の重点政策「雇用の創出・人を育てる・地域力の向上」を基本に策定します。

町長 担い手不足、空き家問題や公共施設の老朽化、山林荒廃などの解決に取り組み、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指します。

問 総合計画に基づく事業の推進と、財政見通しの調整を行いながら、持続可能な町政運営と財政の健全化を維持していきます。

問 政府は、「まち・ひと・しごと」総合戦略の中で地方創生を立

問 第6期介護保険料は、第5段階の基準額で月額6895円、年額82740円になる見込み。
軽減に向けた制度改正を国・県に要望するべきでは。

町長 健康づくりなど

問 地区公民館は、地域の方々が要望・相談等を気軽にできる公民館であるべきでは。

町長 生涯学習施設と認識しています。心の豊かさや生きがいと支え合いを重視した社会教育、防災・防犯の地域連携及び健康福祉などの情報提供等、地域

問 機能と役割をどのようにに再検討するのか。

町長 農地の集積は、「人・農地プラン」と、農地中間管理機構を活用推進します。農地整備事業は、2ヶ所約31haを予定しています。今後の、希望地区には、農業者や関係機関と連携し丁寧な説明に努めていきます。

問 制度改正について、国・県に対し、議会の協力をお願いしながら、働きかけていきます。

問 経営の効率化や荒廃農地の発生を防ぐために基盤整備が必要では。



夢はぐくむ公民館活動

委員会

総務文教所管分



予算特別委員長

鈴木敏夫

平成27年度一般会計、特別会計13件及び水道事業会計あわせ15件について、予算特別委員会を設置し審査しました。
委員長に鈴木敏夫、副委員長に舩山清一の両委員を選任し、3月10・11日の2日間にわたり慎重かつ活発に審査を行い、いずれも全員一致で認定すべきものとなりました。

一般会計

有利な起債の活用は

長沼(桂)委員 地方債の限度額15億2430万円の内容と内訳は。

政対策債が1億8160万円、災害復旧債が480万円です。

総務企画課長 過疎債

は86・3%で、主なものは、第一小学校の改

700万円、ソフト部分分が8780万円です。公共等事業債が2310万円、臨時財

築事業及び山形大学リサーチムイオン電池研究開発拠点施設整備事業です。

幼児施設の民営化

菅野委員 他の自治体では幼児施設の民営化が進んでいるが、本町はどう考えるか。

町長 現在教育委員会と町とで協議しているのは、町直営の幼保連携を目指す運営です。認定こども園を活用し施設の統合を図り、経費の低減や教育水準の向上を図っていく考えです。

再生可能エネルギー導入は

嶋貫委員 防災拠点施設再生可能エネルギー導入促進事業の内訳は。

総務企画課長 設置場所は、大規模災害発生時、概ね3000人を

設置場所は、本校舎側の体育館とスポーツセンターが併用している入り口を双方から囲むような形で設置する考えです。



災害時対応できる防災拠点に(飯豊中)

本町の運営は、民間の良さをどんどん取り入れて行っています。

收容可能な町指定の避難所になっている飯豊中学校です。内容は、太陽光10KWパネル・蓄電池15KW1基・自発型街路灯6基です。

予算特別

スキー場
多目的利用の検討は

船山委員 手ノ子スキー場の多目的利用の検討は。
リフトも老朽化しているが、今後の運営方法は。

教育文化課長 オフィズンにミニコンサートなど様々なイベントを開催し、周年活用を図ろうと指定管理者が中心になり取り組んでいます。今後スポーツクラブとタイアップして、トレッキングなどの軽スポーツを検討していきます。

町長 特に小中学生のスポーツ施設利用で、大きな成果が上がっているのはスキー場です。現時点では継続していく考えです。リフトなどの施設については、メンテナンスをしつつありして、事故に繋がら

ないよう努めます。

文化財の利活用は

長沼(安)委員 文化財等利活用事業内容と、給食共同調理場の危機管理は。

教育文化課長 萩生城址埋蔵文化財調査、上屋地B遺跡の再調査などです。萩生城址については、土塁周辺を掘って、遺跡等の有無を定期的に調査します。上屋地B遺跡は、旧石器時代のもと言われてきましたが、時代考証の関係から炭素年代を測定し調査します。
27年4月から共同調理場の調理業務が民間委託になります。食育の最終責任は町であり、アレルギー対策等に対応します。

行政無線どう活かす

後藤委員 防災行政無線のあり方と、消防団員の処遇の見直しは。

総務企画課長 FMおらんだラジオについての初期投資額やランニングコストなどの関係から、27年度は加入に関する内容に関係機関と協議します。
団員の処遇改善は、28年度までに検討します。

町長 西置賜行政組合では、FM放送が今後極めて有効な同報系無線等にかわるシステムであるという話になりました。
1市3町では、長井市と本町が使いやすい位置にあることから、まずは手を上げたいと考えています。
連携して取り組むべき課題です。



どう整備する萩生城跡

委員会

産業厚生所管分

一般会計

高円寺チャレンジ シヨップ整備・運営は

菅野委員 「高円寺純情商店街」平日の日中でしたが結構人通りがあり、良い場所だと思いが、看板等の設置は考えているか。

また、本町の特産品販売だけでなくアンテナシヨップとして、情報発信機能により町と都市との交流を促進するべきでは。

シヨップ運営のため一人雇用するところがあるが現地で雇うのか、町から派遣するのか。

商工観光課長 まず運営方法については、地元商店街、女子美術大学と町の三者で行います。

また、看板については以前から指摘を受け

ていますので、大きく目だつものにします。

運営に係る人材確保については、まだ決まっています。

情報交換や施設活用については、商店街の集いの場や、女子美術大学と地域の皆さんとのワークシヨップ、制作物展示会場としての活用も見込まれています。

都市の方々の移住相談窓口を定期的開催しています。シヨップには本町の情報開示モニターを備えています。また、インターネットを活用した情報発信を行っており、施設も人も全体がアンテナとなつています。

町道南館深淵線の改良は何年かかるのか

長沼(桂)委員 町道南館深淵線改良工事に5140万の予算が組まれているが、今年度は

実施できるのか。議会の皆さんと語る会でも出され、いつ終わるのか、早くしてもらいたいと困ると言われた。

当初予算に毎年計上される、毎年補正で減額されてきたが、今後の見通しは。

地域整備課長 町道南館深淵線ほか道路改良工事費として計上している予算であり2路線1橋梁をまとめた事業となっております。うち南館深淵線では用地調査の結果、境界が間違っているのではないかとという申し立てがあり、

調査・調整に時間がかかっているものです。調整にかからない部分では叶内橋が27年度で完了します。

調査を終えて南館深淵線の改良を完了させたかと考えています。全体事業完了が29年となっております。



全線改良がまたれる南館深淵線

予算特別

消雪道路 維持管理の考えは

嶋質委員 消雪設備改修は、管だけの改修なのか。

消雪道路で水の出ない所があり、雪が融けず歩行者が苦労している姿を見る。

近隣市町の中でも本町の除雪が特に良いと評判だが、町民の足と暮らしを守る大事な設備であり、機械除雪も含めて全体的な検討が必要では。

地域整備課長 消雪設備の改修内容はケーシングパイプと揚水管の入れ替えを予定しています。

場所は、萩生中線または松原地内を考えています。

各地の設備も設置してから年数がたっているため、管が錆びるなどが原因で水が出にくい、水量が足りないなど

どの障害が多くなっています。

27年度において総点検を実施し、水量を確保したいと考えています。

機械除雪もあります。が、道幅、家混みの状態など無理な所もあります。井戸の位置移動なども含めて検討を重ね住民の暮らしを守っていきます。

台湾インバウンド 今後の見通しは

長沼(安)委員 観光組織育成事業として、約1000万円ほどの予算が計上されている。台湾インバウンド事業の対応で観光協会・町からも台湾に向いているようだが、今後の対応、見通しは。

インバウンド事業は、理解されていないのでは。

商工観光課長 観光組



識育成事業費は、インバウンド事業に限ったものでなく、観光協会の全事業を対象にした補助金です。

町民の理解という点では、台湾から多くの客が来ることで、飯豊米を台湾に輸出する環境ができています。

町民への説明や情報発信が不足していました。

特別会計

介護保険事業

大幅な改正は

後藤委員 大幅な改正により、介護予防事業が重要視されている。1次予防事業と2次予防事業との違いは。

健康福祉課長 2次予防と1次予防施策の違いは、介護認定を受ける直前で、あと少し身体状況が悪化すると介護認定になる方が2次予防。一般の元気な高齢者が1次予防です。



ほのぼのサロンで介護予防を

一般質問

農業の厳しい環境に活力を



鈴木敏夫議員

○農業の将来展望と対策は

○能力主義による人事管理について

○教職員研修の状況は

質問 町の農業が進むべき道は。

地域資源や特色を

活かした政策を推進

町長 本年度からは、米の生産調整や経営所得安定対策などの農業政策が見直され、水田農業を中心とする本町にとって、極めて大きな影響を及ぼすことが予測されます。国や県における農業

政策の動向を的確に捉え、産地交付金の見直しや、国及び県補助事業を積極的に活用していきます。

町独自の政策として、米の高品質化の推進や生産振興助成支援の継続、米沢牛や酪農の畜産振興、アスパラガス等の園芸作物振興及び循環型農村社会の形成等、地域資源や特色を活かした政策を推進します。

質問 能力主義に立った人事管理を。

人事評価制度導入を

検討

町長 町民の期待に応え、良質で効率的な行政サービスを提供し続けていくには、担い手である町職員の在り方・育て方にも変革が求められています。

これまでの年功序列の任用や処遇などの画一的な人事管理でなく、人事評価制度により職員個々の能力や実績等を把握した上で、適材適所の人事配置やメリハリのある処遇を実現し、公務能力の一層の増進を図っていきます。

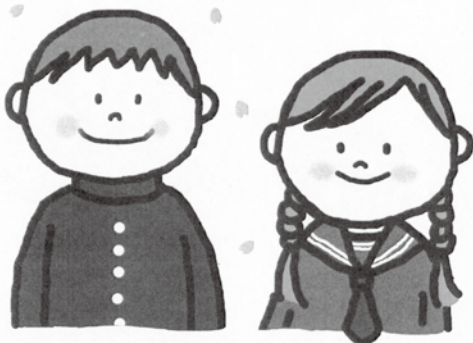
質問 教職員の研修状況は。

教育公務員特例法等の規定により実施

教育委員長 「信頼され、尊敬される教員」を目指した教員研修体系を策定し、特に使命感と教育理念を中心軸

としています。教科、領域等の指導力及び教育課題解決力等、学校教育をつかさどる組織の一員として十分な能力を発揮できるように、研修を積むこととなっています。

希望と胸に 新たな出発



一般質問

先端技術どう活用

山大蓄電デバイス開発研究センター



菅野富士雄 議員

質問 旧工場跡地を活用した山大王工学部の蓄電デバイス開発研究センター設置工事が始まり、町民が夢と希望を持って期待している。

しかし、最先端の科学技術を駆使し、専門的分野の研究であるものの、メリットが不透明です。関連する企業の誘致は。

新たな企業との

関わりも

町長 工場閉鎖後、利用される方を公募し、山大王工学部との出会いがありました。リチウムイオン電池の開発研究に力を入れ、高性能化を追究し、宇宙開発や自動車の電池部門等

を視野に入れていきます。

蓄電デバイス部門では、企業との共同開発が行われており、センター開所により電池部材企業、バッテリー製造企業等の進出もありません。

質問 研究者や学生、企業関係者等が来町とのことだが、経済効果は。

「おもてなし」の心で

町長 田園散居集落景観を前面に、自然・農産物・住環境等、快適な田園の息吹をPRすることも考えています。置賜各市町や、町民と共に歓迎ムードを盛

り上げ、宿泊、飲食、会議場・食材提供などで経済の活性化に繋がると確信しています。

質問 近い将来、バッテリーがエネルギークリン化の主役に躍り出ると思う。水素自動車等への転換が進む中、町内で開発される蓄電技術の可能性を探るべきでは。

人材育成も含め

産学官金連携で

町長 まず、電池バリエーション構想を作成し、施策や人材の登用を進めることが必要です。

また、電池の活用並びに普及促進を行いながら、エコタウン構想として、国の地方創生プランと照らして、リチウムイオン電池の将来を探していきます。

質問 人材育成も含め、専門の職員配置は。

企画立案できる

人材育成を

町長 専門技術的な研究分野の育成には限界

を感じています。

しかし、波及効果を視野に入れながら「飯豊電池バリエーション」に向けて、企画・立案できるような人材育成に努めていきます。



産学官金連携で推進

一般質問

雇用創出の取り組みは



後藤 恵一郎 議員

質問 雇用創出の取り組みと今後の課題は。

将来への持続を意識

町長 農林業では、米や牛肉のブランド化や自給力向上、新規就農者への支援、木質バイオマスの活用。商工業では、東山工業団地への企業誘致や中小企業事業費補助金により雇用創出を図っています。さらに、医療介護では、多様な福祉施設の整備を図り、雇用の拡大に努めています。

質問 全国初となる自治体連携で、東京都杉並区が静岡県南伊豆町に特別養護老人ホーム

を建設することで合意した。

都市部での高齢化が急速に進む中、施設整備が追いつかないとのことだが、本町でも、福祉施設を誘致し、雇用の創出に取り組む考えは。

課題も多いが 研究してみたい

町長 課題としては、住み慣れた地域で暮らす「地域包括ケアシステム」の考え方になじまないことがあります。また、社会保障制度、特に、介護保険や後期高齢者医療保険への影響と見直し、生活保護者の受入などで、受け入れ側の財政に、負の

影響をもたらすのではとの懸念があります。都市部で急増する施設入所の待機高齢者を減らすため、さらには受け入れ側の雇用創出や、新たな自治連携の先駆的モデルとして注目されており、調査・研究してみます。

質問 10年後の2025年には、75歳以上の後期高齢者が2000万人以上になると予想されている。介護、医療関連の法整備が進む中、早急に住所地特例を活用した事業展開を考えては。

可能性と

実現性を探る

町長 使用していない町所有の建物や土地が多くあります。事業展開次第では、

民間でのスピード感ある行動が取り組みを助長することもあり、皆

さんのご意見も拝聴し、可能性と実現性を探りたいと考えています。



いつまでも元気で

条例の設定及び一部改正

新たな条例及び廃止した条例

● **いいでめざみの里
応援寄附基金条例**

ふるさと納税によりまちづくりを応援する寄附を募り、活力あるまちづくりを推進する事業の財源に充てるために設定するものです。

● **地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例**

● **教育委員会教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例**

● **教育委員会教育長の勤務条件に関する条例**

法律の一部改正により「教育委員会制度」が変わるため新たに条例を設定するものです。

一部を改正する条例

● **地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例**

● **指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防等のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例**

介護保険法の改正により設定するものです。

● **肉用牛飼養農家緊急支援貸付金条例を廃止する条例**

福島第一原子力発電所の事故による支援を廃止するものです。

● **飯豊町議会基本条例**

● **飯豊町議会委員会条例**

教育委員会制度が変わることによるものです。

● **特別職の職員の給与に関する条例**

不法投棄監視員を特別職とするものです。

ほかに、以下の条例が一部改正されました。

● **介護保険条例**

● **指定地域密着型サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例**

● **指定地域密着型介護予防サービス等の事業の人員、設備及び運営並**

● **指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例**

● **行政手続条例**

● **観光レクリエーション**

● **ン公園（ゆり園）条例**

● **道路占用料徴収条例**

● **定住促進住宅管理条例**

● **水道事業の設置等に関する条例**

● **水道事業の設置等に関する条例**



不法投棄を許すな

総務文教常任委員会

各課からの報告

教育文化課

◆子ども子育て会議条例の制定を受け、子どもが健やかに成長し続けることを目的に、4月より支援事業計画がスタートします。

質問と答弁

問 税務申告会場変更の影響は。

答 申告される皆さんからの理解を得て、順調に進んでいます。

問 冬期間、ごみ収集所を閉鎖している箇所があると聞いたが、除雪体制の問題か。

答 地域で除雪ができなく、2集落より要請があり、中止しました。衛生組合長を通して周知しました。

問 旧中津川役場出張所に貴重な地図、保存記録などがあると聞くが、どうまとめるのか。

答 現地確認をいたしました。古い公図や貴重な資料もあり、

早期の対応を考えています。

産業厚生常任委員会

各課からの報告

農林振興課

◆水田の積雪は、前年度より30〜60cm多いため、融雪対策を実施します。

地域整備課

◆ダム道路で雪崩が発生したため、当分の間通行止めとなります。

老健施設「美の里」

◆ダム道路の通行止めにより、中津川からの通所利用は、中止します。

質問と答弁

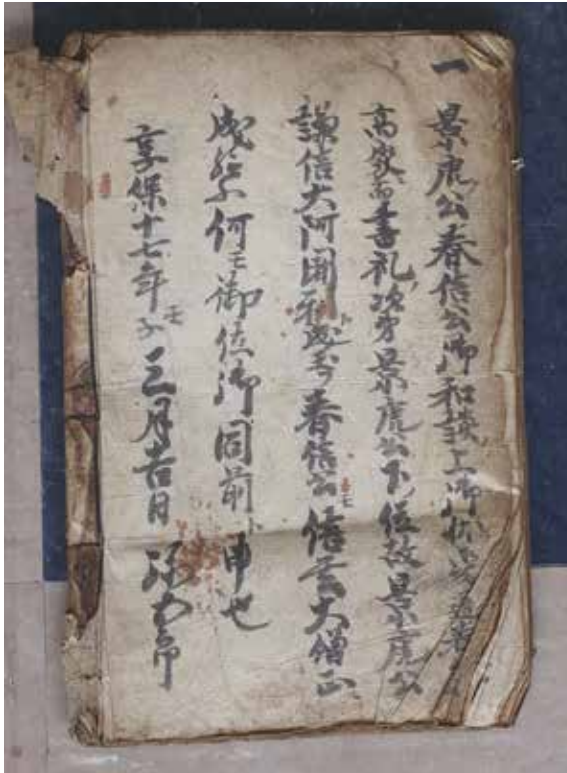
問 関係機関と相談しながら、飯豊を代表するものを品揃えします。

また、移住相談等も月1回は開催したいと考えています。

問 雪崩による物流の停滞や急病への対応などの影響は。また、今

後に備えて万全な体制を整えておくべきでは。

答 今回は色々な要因が重なったため雪崩が発生しました。今後は、重要路線なので、通年通行できるように、県に強く要望していきます。



貴重な資料がいっぱい 旧中津川出張所

質問と答弁

問 高円寺チャレンジショップに、町内産の商品が少なく、残念に思ってきたが、今後の活用方法は。



望まれる早期の復旧

公の指定管理者を指定

平成27年4月から3年間の指定管理者は次のとおりです

○農家レストラン「エルベ」は、(有)エルベに。

○めざみの里観光物産館は、飯豊めざみの里(株)に。

○どんでん平ゆり園は、(有)どんでん平ゆり園に。

○白川荘・フォレスト

いいでほかは、(株)緑のふるさと公社に。

○しらさぎ荘は、(株)飯

豊町産業開発公社に。豆腐工房は、恵工房「飯豊の郷」に。

○施設園芸ハウスは、

J A山形おきたま飯豊地区青年部添川活動班に。

○体験農園いちごハウスは、(有)フレッシュファームに。

○バイオマス製造施設

は、中津川バイオマス(株)に。

○手ノ子スキー場は、手ノ子スキー場活性化組合にそれぞれ指定しました。

5年間の指定管理者

○福祉事業所「でんでん」は、(社)すぎな会に指定しました。

第2回臨時会

2月10日、臨時会を開催し、一般会計補正予算について審査し、全員一致で可決しました。

◆一般会計

6009万円を追加し、75億3831万円とするものです。

補正の主なもの

・除雪事業

5730万円

・各施設管理費

379万円

全国町村議会議長会自治功労者

議員在職15年以上

菅野 富士雄

県町村議会議長会自治功労者

議員在職11年以上

山口 文隆
中村 仁一
後藤 恵一郎



